

授業科目名	観光まちづくり論	担当教員	崔 光雄
必修の区分	選択必修		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1年 第3クォーター		
講義内容	<p>近年日本では、観光が国と地域を支える産業として成長し、コロナ禍を経てインバウンドツーリズムに関しても回復と持続的な成長を見せている。インバウンドに関して注目すべきトレンドは、東京や大阪などの大都会を中心とした観光より、徐々に地方まで足を運ぶ観光客が増えていることである。そして観光を通じた地域活性化と地方創生の手段として、「観光まちづくり」が注目されている。</p> <p>上記を踏まえて本講義では、観光まちづくりの基本的な概念と考え方をレクチャーで学び、それをいかに実践するか、どうやって地域において観光まちづくりを進めるべきかなどについてグループワークで学ぶ。</p>		
到達目標	<p>1. 観光まちづくりの基本的な概念と考え方、実践法について理解し、事例を踏まえて説明することができる。</p> <p>2. 地域社会の現状と課題を理解し、観光まちづくりを通じた解決策について提案できる。</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、観光まちづくりとは 授業の目的と概要、進め方、成績評価方法などについて説明する。 観光まちづくりの定義と観光まちづくりを学ぶ意義について説明する。</p> <p>第2回 観光計画と観光まちづくりについて 観光計画と観光まちづくりの関係性を学び、日本における観光まちづくりの社会的変遷と現状について学ぶ。</p> <p>第3回 観光まちづくりのステークホルダー 観光まちづくりにおける主要なステークホルダーと求められる役割などについて学ぶ。</p> <p>第4回 観光まちづくりの政策・制度・行政 観光まちづくりに関する政策と制度および行政について学ぶ。</p> <p>第5回 観光まちづくりの経済効果 観光まちづくりの経済効果、地方創生における観光まちづくりの役割などについて学ぶ。</p> <p>第6回 観光まちづくりとサステイナブル・ツーリズム (1) 観光まちづくりの社会・文化および環境への影響について学ぶ。とくに近年の日本におけるインバウンドとオーバーツーリズム問題を踏まえて学ぶ。</p>		

	<p>第7回 観光まちづくりとサステイナブル・ツーリズム (2) 観光学における伝統的な議論と現在のつながりについて、サステイナブル・ツーリズムの観点を踏まえて学ぶ。</p> <p>第8回 観光まちづくりと観光事業 観光事業（業界）の分類および課題について学ぶ。観光まちづくりと観光事業の関係性について学ぶ。</p> <p>第9回 観光まちづくりにおけるビジョンの設定 観光まちづくりにおけるビジョンの設定の必要性および具体的なプロセスについて学ぶ。</p> <p>第10回 地域資源を用いた観光まちづくり 地域資源を観光まちづくりにつなげ、地域の魅力をつくるプロセスについて学ぶ。</p> <p>第11回 グループワーク報告会 「観光まちづくりビジョンの設定」に関するグループワークの報告会を行う。</p> <p>第12回 レビュー&テスト 全体の振り返りと期末試験を行う</p>
事前・事後 学習	授業で指示する内容について予習・復習すること
テキスト	テキストは指定せず、オンラインで授業の資料が閲覧できるようにする。
参考文献	國學院大學地域マネジメント研究センター編著『「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方』朝倉書店、2023年
成績評価 の基準	出席およびリフレクションシート（20%）、グループワーク（20%）、期末試験（60%）により評価する。
履修上の注意 履修要件	特になし。
実践的教育	該当しない。
備考欄	必要に応じて「授業計画」を一部変更することがある。 2021年～2024年度入学生：「観光政策論」履修定員を超過した場合、金曜3時限などでの追加開講を考慮する。